

通関士試験・通信添削研修




平成23年度通関士試験・合格体験記



(社)日本通関業連合会研修事務局

第45回通関士試験が昨年10月2日(日)に実施されました。全国合格率は昨年とほぼ同様の9.9%で、10%を超えない厳しいものでした。当連合会主催の昨年の通関士試験・通信添削研修の受講生におきましては、全国合格率の2倍を大きく上回る高い合格率となり、また、これまでで最も数多くの方々が合格の栄冠を手に入れました。そうした合格者のうち11名の方々に、お忙しい中、どのような状況から、如何にして合格に至ったかなど強い決意、勉強の仕方、モチベーションの維持方法などを体験記としてまとめていただきました。新年にふさわしい新たな決意で、合格を目指す方々にとって大いにご参考になるものと存じます。

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>日本包装運輸(株) 碓 智絵</p>	<p>ートにまとめていましたが、わからない所があるとテキストをめくってというのに時間がかかってしまったので、途中からはテキストに直接書き込み、ページをめくらなくても一目で関係事項がすぐにわかるようにしました。</p>
<p>私は、第45回通関士試験に合格することができました。前回受験したのが5年前で、その時はほとんど勉強をしていなかったもので、当然落ちましたが、今年は覚悟を決めて真剣に取り組み、テキストが届いた4月から勉強を開始しました。</p> <p>わからない所もあったけれど、とにかくテキストを読み進め、それと同時に過去問題集も解いていきました。最初はノ</p>		<p>通信教育なので、孤独感のある一人での勉強になり、疑問に思うこともそのまま突き進み、曖昧な知識になってしまいがちですが、月1回行われる2日間のスクーリングで、確信の持てる知識に変わり、より理解が深まったと思います。そして、添削問題集の提出も期限が決められていたので、提出期限に向けてコツコツ勉強できたのも良かったと思います。</p>

<p>働きながら勉強時間を確保するのは、やはり大変でした。通勤時間中には、コンパクトサイズになっている過去問題集を解き、どれだけ残業で帰りが遅くなった日でも 30 分はテキストに目を通すなどといったことを確実に実行しました。</p> <p>試験 1 カ月前からは、勉強時間を少しでも増やすため、いつもの起床を 30 分早</p>	<p>め、朝に勉強するようにしました。このように毎日 30 分でも、勉強時間をとにかく作ることを一番に試験に臨みました。</p> <p>最後になりましたが、添削やスクーリングでお世話になった講師の方々に感謝致します。本当にありがとうございました。</p>
--	---

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>(株)築港 本多 浩一</p>	<p>えるといっても 97 類すべてを覚えるのは、私には無理なので、要点だけを覚えようと努めました。その点において、通信添削研修の通関実務のテキストは、大事な類注が見やすく纏められているのでこのテキストだけでも価値があると思います。</p> <p>今回はやるべきことをやって試験に挑み、試験後も手応えがありました。しかし、民間会社の解答速報ではまたしても通関実務が 1 問足りず、そしてまた輸入申告書の問題で加算するか否かで 5 問纏めて不正解となっていたのです。努力とはこんなにも報われないものなのかとあまりのショックに心が折れそうになりました。それを見かねたのかある上司が、「努力した結果が駄目であってもそれはそれで評価しているので、次回も頑張れ」と励ましてくれました。その言葉に救われ、もう一度来年も頑張ろうと決めた矢先に日本関税協会や日本通関業連合会の解答速報が出て、その解答では 5 問纏めて不正解だったものがすべて正解となりました。あまりに嬉しくて感極まったことは今までの人生で初めてでした。</p> <p>このやりとげたという達成感、その辛く悔しい経験、励まされリベンジしようと立</p>
<p>私は入社 7 年目ですが、今回で 6 回目の受験となりました。今年はもう後がないと自分自身を追い込むために、この日本通関業連合会の通信添削研修や日本関税協会のオンライン模試等の様々な受講費用を会社へ申請し、費用を負担してもらうことで絶対に落ちることはできないと自らプレッシャーをかけて、試験当日までモチベーションを保つように心掛けました。</p> <p>まず、通関業法と関税法等ですが、範囲が広いので時間を掛けてコツコツと勉強し、努力を継続した方でないと思ってしまう。通関実務については、勉強しても勉強方法を誤ると大して結果に結びつかないことをこの 2 年間で経験済みでしたので、通関実務については、勉強方法を教材のみに頼るのではなく自分でも考えて勉強しました。そのため重点的に勉強したのは、類注を覚えることと加算・非加算要素についてです。類注を覚</p>		


ち直った経験は非常に貴重であり、人として成長することができたと思います。

努力は実らないことがあるかもしれませんが、自分を裏切りません。そう実感しました。

最後になりましたが、この場をお借りして、サポートして頂いたすべての方に深く御礼を申し上げます。





	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>(株)上組 山下 敏男</p>	<p>た。また、5月から7月には月1回（土日の2日間）のスクーリングに参加し、このスクーリングでは、講師の方の講義を聞くだけでなく、ノートに書き・書いて勉強する方法をとりました。10月の本試験までの半年間は勉強・添削問題・スクーリング・直前集中講座（模擬試験）・日本関税協会の模試試験など、可能な限り試験勉強に時間を充てました。</p> <p>試験に関して言えば、合格基準をクリアすればいいので、ケアレスミスをいかに防げるかがポイントの1つです。関税法等の問題を例にすると、月・年数の含む問題、時期に関する問題、課税価格の決定の原則など、毎年必ず出題されるような問題については確実に正解しておく必要があります。これだけでもある程度の得点は得られます。</p> <p>2つ目に、時間配分を間違えないこと。1問1問に時間を掛けすぎるとは、手付かずの問題が出てしまったり、焦って回答した結果、不正解となるケースがあります。過去問題を多くこなす事で自分の回答ペースを把握し、見直し出来る時間を確保する事も必要です。</p> <p>近年は合格率10%以下の年が続いていますが、継続して勉強すれば、合格率に</p>
---	---	---

<p>関係なく必ず合格できます。最後まで諦めず、粘り強く頑張ってください。</p> <p>最後に、今回お世話になった日本通関業連合会の講師の方々、また応援して頂いた方々に深く感謝しております。本当に有難う御座いました。</p>	
---	--

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>山九(株) 前原 秀樹</p>	<p>テキストで復習することでした。3科目の勉強時期も添削問題の提出時期に合わせる事により8月までに2周り勉強する事ができ、とてもよいペースメーカーになりました。また、返却された答案に書かれた講師の方々の「よい成績です。期待しています。」といったコメントもとても励みになりました。特に私の苦手でもあった実務の添削問題は、今まで解いたことのない形式の問題が数多く出題され、解くことが出来たことが大きな自信につながったと思います。また、9月上旬の模試を受けることにより本試験を強く意識することができ、会場での緊張感、時間配分を再確認することができました。</p> <p>試験当日は、比較的落ち着いて臨むことができたのですが、今年も実務が難しかったため、得点できるところを確実にとろうと思ってやりました。得点は合格基準ぎりぎりでしたが、途中で諦めず粘り強く勉強したことが実を結んだのだと思います。</p> <p>最後に、通信添削や模擬試験等でお世話になりました、日本通関業連合会の先生方に深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。</p>
<p>この度、第45回通関士試験に無事合格することができました。</p> <p>近年、通関士試験は難しくなっており、私自身、今まで自分の努力不足で何度も悔しい思いをしてきました。特に、通関実務の問題で合格基準に達することができず、どの様に勉強を進めていこうか迷っていました。そんな時、日本通関業連合会通信添削研修に巡り合い、これなら勉強がはかどると思い申し込みをしました。</p> <p>勉強を始めたのはテキストが届いた4月からです。仕事をしながらの勉強は大変ですが、私の場合は幸い同時期から平日の朝1時間、会社の上司及び通関士の先輩方による勉強会が行われるので、行き帰りの通勤時間を合わせると最低3時間勉強する時間を確保することができました。</p> <p>具体的な勉強方法は問題集、過去問を繰り返し、わからない箇所及び誤った箇所を</p>		



	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>名港海運(株) 中嶋 裕美子</p>	<p>した。但し、過去問題を解くのも同じ問題ばかりだと問題自体を覚えてしまいますので、通信添削で新しい問題を解くのは大変よかったですと思います。添削されて返ってきた解答と解説を見ながら復習することで、苦手な問題を少しずつ減らしていったかと思えます。</p>
<p>この度、第45回通関士試験に合格することができました。通関業務に携わってから3年目、3回目の受験でした。4月から勉強を始めましたが、あまり最初ががんばりすぎるとやる気を持続させるのが難しいのと、仕事の後には、なかなか勉強に集中できないため、基本的に土日を勉強の時間に当てました。3回目の受験ということもあり、参考書等を一から読み直すということはずせぬ、基本的には過去問題を解いて間違えたところは参考書や解説を見て法令等を覚えるという勉強方法を取りました。</p> <p>通関士試験は過去問題から出題されることがよくあるといわれていますので、通信添削のテキスト等と一緒にいただいた「過去問題・解答解説集」を活用しま</p>	<p>通関士試験に合格するには、合格ラインとされる6割の点数が取ればよいわけなので、満点でなくともいいのです。ですので、関税法は穴埋め問題を、実務では申告書の作成で確実に点が取れるように、重点的に勉強していました。但し実務は年々問題が難しくなっているように感じます。今年の通関士試験は実務が特に難しく、試験後に自己採点をしたところ点が足りず、正直あきらめていました。ところが合格発表の日、官報を見ると自分の受験番号と名前があり、驚くと同時に大変嬉しく思いました。</p> <p>今回合格できたのは、会社の方々及び通関業連合会の先生方のサポートのおかげです。本当にありがとうございました。この場を借りて御礼を申し上げます</p>	


	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>(株)アスト中本 沖 康介</p>	<p>のですが、家族の将来を考えた時、安定面や体力面での不安を感じたので、今より安心して将来設計が出来る事を考え、色々調べた結果、通関士に挑戦することになりました。</p>
<p>通関士という資格に挑戦しようとしたきっかけは「子供が産まれる」事でした。それまではスポーツインストラクターという全くの別業種を5年以上続けていた</p>	<p>去年、初挑戦した第44回では、別の通信教育を受講しての挑戦でした。過去問や模擬試験では余裕の合格ラインに達していた為、余裕で合格する自信がありましたが、結果は惨敗…。そこで「今の環境ではダメだ」と思い、無資格のまま、</p>	

現在の職場に就職させて頂きました。絶対に次回の「試験には合格する」と社長の前で豪語していたので、最も確かな情報が得られそうな、こちらの日本通関業連合会の通信添削研修に申し込みをさせて頂きました。通関業法と関税法等の2科目は基礎がもう出来上がっていたので、昨年、大失敗した通関実務に力を注ぎました。初挑戦される方も注意してもらいたいのですが、最大の問題は通関実務です。年々難易度が上がる実務は過去問や模擬試験で合格ラインに到達しても

本番で通用するかどうか初挑戦時も2回目の挑戦時も本試験の問題を見た時、冷静さを保つのが大変なくらい難しく感じるものでした。正直、合格出来たのが不思議なくらいです。

最後になりましたが、通信添削でお世話になりました通関業連合会の先生方、そして未経験の私を採用していただき、通関士の勉強をさせて下さった社長・常務、事務所の先輩方に深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>愛知海運(株) 亀岡 孝太郎</p>	<p>評価については、税関の研修会で配布された「関税評価の基礎」という資料を熟読し、加算・非加算の考え方を理解するように努めました。</p> <p>今年の試験では、通関実務の申告書の作成がとても難しく感じました。私の場合、時間配分を考え、選択式と計算式問題から先に解いていきました。申告書の作成に取り掛かった時には時間が足りず、輸入申告書の加算・非加算で試験時間ギリギリまで悩み、終了3分前に電卓を叩きながらマークシートに書き込みました。やはり、最後まで諦めない気持ちが大切だと思います。合格発表日に上司から、官報に名前が載っているとの連絡を受けた時には本当に嬉しかったです。</p> <p>最後になりましたが、お世話になった日本通関業連合会の先生方、また会社の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。</p>
<p>本試験を受けるきっかけとなったのは、社長から受験するよう「業務命令」があったからです。昨年も受けたのですが残念ながら不合格となり、もう一度チャンスをもたらす事になりました。「これに落ちたら次のチャンスはないかもしれない。」と、自分にプレッシャーをかけて今回の試験に挑みました。</p> <p>勉強方法としては、日本通関業連合会の通信添削研修の問題集と市販のテキストを繰り返し解く事に専念しました。4月頃に添削問題とテキストが届けられるので、解答を早くもらうために、すぐに提出するように心掛けました。また、5月から始まる連合会のスクーリングにも参加しましたが、ここでは、理解できなかった事を質問し、疑問を解決していきました。</p>		

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>(株)京神倉庫 国富 久晴</p>	<p>試験に臨むことができたことと、加えて通関業連合会の通信教育講座を受講したことが良い結果となりました。</p> <p>本講座は添削課題が中心ですが、まずはテキストを見ながら問題を解いていきました。そうすると、必然、ある程度はテキストを読み込むので、おおよそのところは頭に入ります。その後で、過去問題集を時間のある時に読むようにしました。せっかく勉強したことも、さぼって期間があいてしまうとあらかた忘れてしまい、また、最初</p>
<p>通関業者として輸入通関業務に携わる以上は、通関士資格は必須なのですが、長年思うように勉強ができておらず、今回、入社6年目にして、ようやく一科目免除にて</p>		

<p>の1ページから勉強するはめになってしまいますので、毎日ではなくとも、仕事が早く終われば喫茶店へ行ったり、休日には数時間、勉強のために時間を作るようにしました。また、うっかり酒を飲んで帰った場合には、もう目で文章を追うことはできませんので、代償として、問題集を枕の下に置いて眠りました。それがどれほどの効果があったかはわかりませんが。</p> <p>試験本番の前に実施された模擬試験では、合格ラインに達しておらず、もはやこれまでと諦めかけましたが、よくよく間違えた箇所を見直すと、曖昧な点を無くしさえすれば合格できるのではないだろうかと思</p>	<p>い、本番までの一週間を弱点克服に努めました。</p> <p>模擬試験において、私にもまだ可能性はある、と知ることができたのが私にとってのポイントとなったと言えます。</p> <p>最後になりましたが、通関業連合会の講師の方々、応援してくださった会社の皆様</p> <p>に御礼を申し上げます。スクーリングや模擬試験、添削課題がなければ、また応援の言葉がなかったなら、私の心はある段階でびたりと前に進むことを止めたに違いありませんでした。この場を借りて、あらためて感謝いたします。</p>
---	--

	<p>通関士試験 合格体験記 ヤマトグローバル ロジスティクス ジャパン(株) 河須崎 雅之</p>	<p>達と遊んで帰ってきた後でさえ勉強をするほど、とにかく今までの人生の中で一番勉強をしてきました。</p> <p>試験当日、必ず受かるという自信を持って挑みましたが、今年の実務試験は今まで以上に過去問対策では及ばない問題ばかりでした。近年、実務試験は落とすための試験と言われていますが、まさにその通りだと痛感すると共に、正直、今年もダメだと思い試験が終わりました。自己採点でも確実に取れている点数が17点と、やはり合格基準点6割に1点及ばずに落ち込み、何をしても心から楽しめず生きた心地が全くしませんでした。だからこそ余計に、発表当日、上司に肩を叩かれ合格を知った時は、今までの努力が報われたという喜び、安堵で打ち震えました。</p> <p>今回合格出来たことは勿論真剣に勉強に取り組んだ結果であるとは思いますが、それ以上に普段仕事で分からないところを親切丁寧に教えてくれる先輩上司の皆様や、連合会の講師の方々、応援や期待を寄せてくれた</p>
<p>今年、前回不合格だった悔しさをバネに、通関士試験合格をマストと掲げ、勉強に取り組んできました。平日は通勤時間が電車で片道2時間と長く自宅で勉強する時間が無い分、電車の中で過去問題を中心に通関業法と関税法の勉強をし、土日のどちらかは近くの図書館に通い、自分の中の鬼門である実務の問題を何度も何度も解いてきました。(社)日本通関業連合会主催の通関士試験・通信添削研修のスクーリングも全て通わせていただき、分からないところや納得がいかないところを講師の方々にしつこく質問をして不安要素を潰していきました。友</p>		

皆様のおかげであると思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



通関士試験
合格体験記
澁澤倉庫(株)
阿久津 秀悟

この度、第 45 回通関士試験に合格することができました。私は会社では通関の仕事に携わっており、通関士の資格は業務をするうえで重要であるため受験しました。

受験するにあたって 1 番気をつけたことは「毎日テキストを読む」ことです。私の場合は、通勤時間が片道 2 時間ありましたので、空いている時間に睡魔と闘いながらテキストを読み続けたことが成功の要因になったと思います。4 月から勉強を始めたのですが、最初の 2～3 ヶ月ほどとにかくテキストを重点的に読みました。特に関税法の勉強は 1 番苦労しました。関税法の出題範囲は幅広く、内容も複雑なためテキストを読むだけでも時間がかかりました。

日本通関業連合会から送られてくる問題集をこなしました。テキストを読んでい

るだけでは、自分が本当に内容を理解しているか確認できなかったため、問題集を解くことは合格への近道となりました。問題集で間違えたところは正解できるまで繰り返し問題を解き続けました。

また、試験本番には慌てないことも重要だと思います。今年の実務の試験は過去問と比べても難しかったです。申告書の作成の問題では、仕事でも見たことない類が出題されました。普段見たことがなくても落ち着いて取り組めたことは今振り返ってみると重要なことだったと感じます。

半年間、仕事と勉強の両立に苦労しました。私の場合、社会人 1 年目で環境の変化に戸惑いを感じつつ、継続して勉強をするのは大変でした。今後は通関士としてより責任感を持って業務に携わっていきたいと思います。

最後になりましたが、改めまして、お世話になった日本通関業連合会の先生方、応援してくださった方々に深く感謝致します。ありがとうございました。



通関士試験
合格体験記

日本トランス
シティ(株)
赤松 弘子

このたび、第 45 回通関士試験に合格することができました。私自身三回目の受験でしたが、これまでの悔しい思いを繰り返さないよう今回こそは合格したいとの思いで、通信添削研修に申し込むことにしました。

添削講座が自分に合っていると考えたのは二つの理由からです。一つめは、過去の経験から、じっくりテキストを読み込むよりも、実際に問題演習を繰り返した方がより覚えやすかったこと。演習後、間違ったところをテキストで確認するというスタイルを取りました。二つめは、提出期限があるため、独学よりも勉強リズムが取りやすく、やる気が持続できると考えたからでした。

私は、三科目の中でも関税法が一番苦手で、なかなか合格ラインに達しませんでした。通関士試験は 100%を目指さな

くてもよい、まず 60%を満たせばよいのだ、と考え自分の弱いポイントに絞って集中的に問題を解くなど効率的な方法を目指しました。

仕事をしながらの勉強はどうしても時間が取りにくく、自分への甘えが出てしまいがちです。私事ですが夏ごろに転勤があり、新しい仕事・土地の中で、勉強時間がかなり少なくなってしまいました。そんな時はどんなに仕事が遅くなくても、必ず帰宅前にファストフード店などに立ち寄り 1~2 時間は勉強すると決め、勉強の習慣づけをしました。

試験当日は、これまでの努力を信じて本番に臨みましたが、見慣れない問題形式など不安になる要素が多々あり、終了後に自己採点をしてても全く自信がありませんでした。合格の連絡を受けた時は本当に嬉しかったです。自分に合った勉強スタイルを見つけること、たとえ自信が持てなくても諦めないことが大事だと感じました。最後に、お世話になりました日本通関業連合会の皆様、応援して下さった周りの皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

